▼デュピクセント皮下注　［注］

【重要度】　【一般製剤名】デュピルマブ（遺伝子組換え）　Dupilumab（Genetical Recombination）　【分類】ヒト型抗ヒトIL-4/13受容体モノクローナル抗体
【単位】▼300mg/シリンジ・ペン［2mL］
【常用量】
■アトピー性皮膚炎・結節性痒疹：初回600mg，その後2週間間隔で1回300mg［アトピー性皮膚炎では16週までに効果判定］
■気管支喘息：初回600mg，その後2週間間隔で1回300mg
■鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎：　1回300mgを2週間隔（症状安定後には4週間間隔可）
【用法】皮下注［投与前に45分以上かけて室温に戻す］
同一箇所へ繰り返し注射することは避ける
【透析患者への投与方法】常用量（5）
【保存期CKD患者への投与方法】常用量（5）
CCr 50まではPKに影響しないことを確認（1）
腎疾患例でも常用量適用可能であった（Foti C, et al: Life (Basel) 2022 PMID: 36556367）
【特徴】IL-4，IL-13［Type 2サイトカイン］受容体の複合体が共有しているIL-4受容体αサブユニットに特異的に結合してシグナル伝達を阻害するIgG4モノクローナル抗体.
【主な副作用・毒性】注射部位反応，頭痛，発熱，眼のかゆみ，好酸球増多など
【安全性に関する情報】
【F】61～64%［sc］（1）
【tmax】
【代謝】イムノグロブリンの代謝経路をたどると推定（1）
【排泄】分解されて排泄されると推定（1）
【t1/2】5～9日（1）
【蛋白結合率】該当しない（1）
【Vd】4.6L/body（1）
【MW】15.2万
【透析性】除去されない（5）
【O/W係数】
【主な臨床報告】
【更新日】20250514

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。